



応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

令和2年4月1日発行

あい風通信

44号

(学びのスタンプ通算 51 号)

今年度も多彩なテーマで構成

4～7月主催講座

◇講座1「アイヌ語地名と北海道」 4月15日開催を延期

令和2年度最初に予定しておりました本講座は、新型コロナウイルス感染拡大が続いている現状を踏まえ、一時延期することになりました。講座を楽しみにしておられたカレッジ生や市民の皆様には諸般の事情をご理解いただきご協力のほどお願い致します。なお、今後条件が整い次第あらためて開催日時を決定し、「あい風通信」やホームページ、ポスター・チラシ等でお知らせ致します。

◇講座2「石狩浜の漂着物から地球が見える」

講師 いしかり砂丘の風資料館 学芸員 志賀 健司

第1回 「石狩浜の漂着物はどこからやってくるのか？」

日時 5月14日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 「実際に漂着物を集めて調べてみよう！」 バスで石狩浜へ移動してビーチコーミング

日時 5月20日(水) 9:00～14:00 集合場所 石狩市公民館 昼食持参のこと

石狩浜には様々な漂着物が流れ着きます。漂着物の由来を辿ると、人々の暮らし方や物資の流通、環境など現在の地球の状況がよく分かります。講座では、漂着物と云う小さな物から地球と云う大きな物が今どんな状態にあるかを推し量って学びます。

◇講座3「縄文遺跡群の世界遺産登録と石狩市の遺跡」

講師 札幌国際大学縄文世界遺産研究室長 越田 賢一郎

日時 5月27日(水) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

長年の運動が実り、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産候補としてユネスコに推薦され、来年の正式登録を目指しています。構成資産として道内では6遺跡（ほかに関連遺跡1）が含まれており、一万年にわたり自然と共存しながら継続してきた縄文文化の優れた価値を現代に伝えています。縄文遺跡群とは何か、世界遺産としての価値とは何かについて、石狩にある遺跡を含めて学びます。

◇講座4「姿勢と歩き方と健康との関連について」

講師 手稲溪仁会病院副院長（整形外科）大野 和則

日時 6月6日(土) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

日常的に姿勢や歩き方に無頓着な場合が多いので、日頃の姿勢と歩き方が健康にどのように関係しているかを学び、正しい知識を身につけませんか！

◇講座5「人生100歳時代～100年人生を有意義に生きるために～」

講師 北海道大学名誉教授、北海学園大学名誉教授、元北海学園大学学長 朝倉 利光

第1回 「不安と期待の地図のない旅」 6月25日(木) 10:30～12:00

講師 北海道新聞社編集局生活部編集委員 福田 淳一

第2回 「人生もうひとつ～若返る高齢者～」 7月2日(木) 10:30～12:00

第3回 「生きがい探し～社会参加と孤独のはざま～」 7月9日(木) 10:30～12:00

平均寿命が延び、「人生100歳時代」と一般的に語られるようになりました。高齢者の体力の若返りや、リタイア後にもう一つのライフステージを持つことの重要性が指摘されています。生き生きとした後半戦を有意義に送るための生きがい、社会参加、健康、お金などについて具体的なヒントを伝えます。

◇講座6「石狩歴史散歩 ～花畔地区、北生振・高岡地区～」

講師 石狩市郷土研究会会長 村山 耀一

第1回 「花畔地区の碑と歴史の痕跡を訪ねて」 7月4日(土)

第2回 「北生振・高岡地区の碑と歴史の痕跡を訪ねて」 7月18日(土)

時間 9:00～12:30 集合場所 石狩市公民館

石狩の歴史は札幌より古く、松前藩時代にはアイヌとの交易や、鮭や鯉漁場として重要な場所でした。明治に入り本州からの移住によって開拓されてきた花畔地区、北生振・高岡地区をぶらりと散歩し、先人が残した碑や神社、歴史の痕跡や諸施設を訪ねて、石狩がこれまでに歩んできた姿を学びます。

石狩市花川北
コミュニティ
センター

市民カレッジデータ

(3月18日現在)

○登録者～213人

○連携団体～107団体



ロゴ制作者
丸山英里子さん

まちの先生企画講座紹介

6月 から始まります！

◇講座1「お家で簡単！ジェルネイル」

講 師 新矢 杏奈

第1回 「初めてのジェルネイル」

日 時 6月1日(月) 10:30～12:00

第2回 「いろいろなデザイン」

日 時 7月6日(月) 10:30～12:00

第3回 「最新デザインに挑戦」

日 時 8月3日(月) 10:30～12:00

場 所 石狩市公民館視聴覚室 (子ども同伴可)

材料費 初回1,000円、2,3回目 各300円(但し、ジェルネイルの道具持参の方は無料)

爪の知識と構造、安全衛生管理について、ジェルネイルの下処理の仕方、ジェルネイルの塗布方法、マシンの使い方、デザインネイルレッスンをします。若いお母さんから、認知症予防にと取り組んでいる年配の方々からも、今人気です。

◇講座2「イチゴを摘んでジャム作り」

講 師 萬年 静代 材料費 各回500円

第1回 「旬のイチゴで手作りジャム」

日 時 6月30日(火) 9:00～13:00

8:40 石狩市花川北コミュニティセンター正面玄関集合 バスで生振へ移動、イチゴ摘んで北コミへ。

第2回 「木苺(ブラックベリー)と青トマトの手作りジャム」 日 時 9月8日(火) 10:00～13:00

場 所 石狩市花川北コミュニティセンター料理室 【全回受講できる方】

1回目は銘々で摘んだイチゴで、2回目は用意された木苺などでジャム作りに挑戦します。材料は、いずれも講師自身が栽培されたもの。作ったジャムで軽いランチをとります。エプロン、三角巾持参のこと。

令和2年 新年交流会盛會裏に！

1月28日(火)、令和2年新年交流会を市民プール2階で行い、カレッジ生、連携団体、協賛企業、教育委員会、運営委員など36名が参加しました。

林一元運営委員長の開会挨拶、加藤龍幸学長(市長)の祝杯で交流会は始まり、参加者は5つのテーブルに分かれて和やかに歓談しました。歓談の合間には、カレッジ生の若林真紀子さん、東信也生涯学習部次長、勝木敏一運営委員に一言ずつコメントをいただきました。

さらに恒例の山本治さんの手品は拍手喝采を浴び、会を大いに盛り上げてくれました。こうして2時間の交流会は、佐々木隆哉教育長に最後を締めさせていただき、盛會裏に終了しました。



第21回 修了証授与式中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため

修了証受証者には郵送にてお届けします

修了証受証者 (敬称略)

3月11日(水)に予定していた第21回修了証授与式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期しましたが、その後も終息に至らず元年度内開催困難なため、授与式中止と決定しました。

なお、今回受証された12名の皆様には郵送にて修了証をお届けさせていただきます。受証者の皆様が次のステージで楽しく学ばれますよう期待します。

- ・ブロンズ(30講座) 平川 省三/濱谷 英雄
- ・シルバー(60講座) 森 幸二
- ・ゴールド(90講座) 後呂 道德/太齋 敏子/根尾 哲行
- ・スーパーダイヤモンド(300講座) 鈴木 茂/神谷 明治
- ・マスター500(500講座) 丸谷 八重子
- ・マスター700(700講座) 長尾 徳雄
- ・マスター1200(1200講座) 星野 隆司
- ・マスター2000(2000講座) 阿部 靖



受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

◇主催講座 14「続々・サイエンス教室～身近な電子機器と数のはなし」

第1回「通常はあまり聞く機会がない専門的なお話を市民講座で聞かれて良かった」「LED、LD 等はどうしても興味深く、自宅に帰ってからいろいろ調べてみたいと思います。楽しく興味をもって講座を受けることが出来ました。次回が楽しみです」「物理は難しいと思って参加しましたが、予想通り難しく、ほとんど理解できませんでした。でも、講義は何となく興味深く感じました」／第2回「何年ぶりかで数学の話聞いて新鮮でした。数学は難しい」「大変勉強になりました。特に、標準偏差の考え方、出し方など、これまで良くわかっていなかったが、よく分かりました」「全体に難しい。対数表はなつかしい書類でした。計算機のない頃、この表を図書室で引いて使用した記憶がある」

◇まちの先生企画講座 4「北海道の歴代長官」

第1回「コンパクトな資料、大変分かりやすい解説、興味深く楽しく受講でき大変感謝しています。次回も楽しみです」／第2回「学校で教えてもらえなかった北海道の歴史、楽しく拝聴しました。来週の講義も楽しみにしています。電気も暖房機も無い極寒の地で当時の人たちのご苦労に思いをはせています」「北海道開拓に功績のあった人々の事を詳しく解説してもらい大変勉強になりました」／第3回「ほとんど知らないことばかりで目からウロコの講義内容でした。大変良いテーマ、内容だったと思います。武石氏に感謝です」



新しい ボランティアスタッフ 紹介



◇ 森 幸二さん (石狩市花川北在住)

いしかり市民カレッジ運営委員会総務・広報グループに加入した森です。

カレッジが 10 周年を迎え、市民が運営主体で内容も高い評価を受け継続されていることや運営の仕組みを、運営委員の募集説明会で知り、微力ながらお手伝いしたいと思っています。

石狩市民となって 11 年目になりますが、定年を迎えてから市民カレッジのほか多彩な市民活動が展開されていることを知り、いくつかのサークルに参加し、新たな”石狩”との出会いを楽しんでいます。

◇ 西 英司さん (札幌市手稲区在住)

リタイア 4 年目。家庭菜園・マラソンなどの趣味や講座通いと第 2 の人生も軌道に乗りつつありますが殆どが自分のため。何か少しでも人のお役に立てることを模索中、度重なる「応援求む」の呼びかけに手を挙げることを決意しました。正直申し上げてやり通せるか甚だ不安ですが 10 年の歴史を持つ道内屈指の市民カレッジの運営に携われることは光栄であり何とか精進していく所存です。早くも石狩に赴く機会が多くなり手稲区在住の石狩市民と化しています。どうぞよろしくお願い致します。

◆ 令和2年度講座案内一覧

○いしかり市民カレッジ 1 年間の講座予定が一目でわかる一覧表です。お部屋の壁に掲示してご活用ください。

○受講者提案講座は、前号(第 43 号)で紹介したように、講座9、講座10、講座14の3講座として実現しました。ご期待ください！

今後も、様々な提案をお願い致します。

◆ 年度会費更新手続きのお願い

～4 月中にお願いします～

○4 月 15 日(水)の「講座 1」が延期になってしまい、更新手続きができなくなりました。

○お手数をおかけしますが、石狩市公民館窓口へ年度会費 1,000 円と「学びの手帳」をご持参いただくか、郵便振り込みでお願いします。

チョコっと いしかり学

《12》

札幌時計台と、北前船、石狩川

石狩市郷土研究会事務局長 石 黒 隆 一

札幌時計台で、バロック音楽を美しく響かせるニューイヤーコンサートが開催されるようになって 20 年目を迎えます。明治 9 年に札幌農学校の演舞場として建設された時計台で、当時から現在に至るまで 144 年にわたって時を刻み続けるアメリカ・ハワード社製の時計機械はどのように運ばれてきたのでしょうか。札幌小樽間の鉄道が開通したのは明治 13 年 11 月です。鉄道開通まで、開拓使は地場で調達できる木材と石材以外の道都建設の資材を、水運によって搬送していました。

鉄道と近代的な港湾が整備されていなかった当時、資材は北前船で運ばれて、石狩川河口で川船に積み替えられ、石狩川－伏古川－創成川を遡って、札幌中心部に運ばれたのです。11 月の鉄道開通に先立ち明治 13 年に石狩川河口に鮭買積み以外の目的で入津した北前船は、54 艘でした。鉄道開通まで、水運は道都建設の大動脈でした。

時計台、開拓使庁舎、豊平館（後に移転）が、開門が設けられていた創成川から至近の距離に建てられたことが当時の状況を今に伝えています。



石狩の風物

ミズバショウ

ミズバショウは、サトイモ科ミズバショウ属の大型多年草で、白い苞が印象的な石狩の早春の風物詩です。開花は 4 月中旬から下旬頃。一見花びらのように見えるのは、仏縁苞と云う葉が変形した物で、中心の円筒状の部分に小さい花がたくさん集まっています。

ミズバショウが生息するのは、石狩川下流部マクンベツ湿原のハンノキ林で、裸木の下での明るい場所で花を咲かせ、受粉して出来た種は水に漂いながら生息範囲を広げていきます。平成 19 年に河岸まで長さ 400m 幅 1m の木道が出来て、ゆっくり歩きながらミズバショウを鑑賞出来るようになりました。

早春に可憐な姿を見せるミズバショウも、夏には葉を 1m 近くも伸ばして恐ろしいほど大きくたくましくなります。そのたくましい生命力は、大きな個体では 40 年以上生きることでも分かります。

開花情報は、石狩市観光協会のホームページに掲載されるので、今年はぜひミズバショウを見に出かけてみませんか。

(石井滋朗)



編集後記

あい風通信は、編集、印刷した後、手作業で折込をし、封筒に詰めて皆さまにお送りしています。その封筒詰めの際に一番思うのは、果たして皆さまの要望に合う紙面となっただろうか？と云うことです。

あい風通信はこれまで、「学びのスタンプ」時代に 7 号、市民カレッジになってから 44 号、通算 51 号をお届けしてきました。今月号が皆さまに喜んで頂けますように、そんな願いを込めてお送りしますので、どうかよろしくお願い致します。

(J.I)

発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：鈴木、石井、太齋、徳田、西、三上(富)、光川

お問合せ 石狩市公民館

石狩市花川北 6 条 1 丁目 42 TEL & FAX : 0133-74-2249

ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) 検索